

# モバイル市場の公正競争促進に関する検討会 ヒアリング資料

2018年1月30日

KDDI株式会社

# UQコミュニケーションズの二種指定化について

# キャリアアグリゲーション提供にかかる政策課題

～ MVNOの一層の促進に向けて、MNOとMVNO間におけるキャリアアグリゲーション（CA）の利用について同等条件を確保することが重要

- 移動通信の技術進展の中で、二種指定設備設置事業者及び BWA 事業者は、両者に割り当てられた周波数を活用したエリア展開や、異なる周波数の通信波を複数束ねて高速通信を実現するキャリアアグリゲーション技術を両者の間で用いて、電波利用の連携により通信速度等のサービス品質を向上している。
- こういった電波利用の連携によるサービス品質向上が、MNOだけでなく、MVNOにおいても活用され、両者が同等の条件で競争をすることができる環境にあるか、検証する必要がある。

（引用）総務省「電気通信事業分野における市場検証に関する年次計画（平成29年度）」（平成29年8月29日策定）

**当社はCAを適正な料金で公平かつ同条件でMVNOに提供  
CAの提供に関する検証が必要な場合は協力する意向**

# 第3回会合を踏まえた追加質問について

# 第3回会合を踏まえた追加質問について①

## モバイルネットワークの接続条件・接続料等について

### 質問

- UQからKDDIに対して提供しているWiMAX2+の利用料金は、どのように決めているのか。
- 各社の説明で、MVNOが支払う帯域幅課金のデータ通信料金については、接続料と総務省に届け出ている卸料金で同一なのは分かったが、それ以外の条件による卸提供は行っていないのか。もしあるのならその内容をご教示いただきたい。

### 回答

- ビジネスベースで協議を行い、決定しています。
- L2接続以外の別形態において、回線単位で卸提供を行っている事例はあります。

# 第3回会合を踏まえた追加質問について②

## 関連MVNO・サブブランドとMVNOとの間の同等性について

### 質問

- MVNO各社のドメインからのメールは貴社の迷惑メールフィルタにおいてどのような扱いになっているのか。また、貴社の迷惑メールフィルタにおいて迷惑メールとして扱われないためには、どのような対策をとればよいか。

- 他のMVNOと異なり、UQドメインからのメールがMNOの迷惑メールフィルタに引っかからずに受信可能な理由は何か。

### 回答

- 一般的なPCメールとして扱われます。なお、お客様がメールフィルタを設定される際は、「迷惑メールおまかせ規制」に設定することをお勧めしており、この場合はMVNOドメインのメールを迷惑メールとして扱っておりません。
- また、MVNOドメインのメールのフィルタリングの扱いについてご要望があった場合は、協議に応じたいと考えていますが、例えば、特定電子メール法への準拠等、MVNOによる迷惑メール対策がMNOと同等に講じられている必要があると考えます。

- auと同等の迷惑メール対策を講じていることが確認できたためです。

# 第3回会合を踏まえた追加質問について③

## 関連MVNO・サブブランドとMVNOとの間の同等性について

### 質問

- ユーザ数と（一定のスループットを確保するために必要な）帯域幅の関係性について、何らかの知見やデータをお持ちであれば、ご教示いただきたい。

### 回答

- 一般的に、データ通信においては、輻輳時に再送が発生すると連鎖反動的に更なる再送が生じるため、急速に通信速度が低下します。
- 従って、基本的に再送が起きないように、ピーク時のユーザ数と利用データ量を踏まえて帯域幅を設計する必要があります。

# 第3回会合を踏まえた追加質問について④

## 利用者の期間拘束・自動更新について

### 質問

- そもそもなぜ自動更新にしているのか。
- 自動更新がユーザの乗換えを制限していることは否定しないか。

### 回答

- お客様ニーズや市場動向を踏まえて自動更新プランを提供しています。お客様が十分ご理解の上、料金プランを選択していただけるよう、更に説明強化に努めてまいります。
- お客様には自動更新なしプラン等の選択肢を用意しております。  
具体的には、①契約時に2年契約自動更新の仕組みや諸条件をお客様へ十分ご説明し、②契約更新時には、更新期間前月にメール・郵送による“更新手続きにかかるプッシュ通知”を実施し、③“2ヶ月間の更新期間”にて料金プランのご検討をいただく機会を十分に設けております。乗り換えを制限している認識はありません。

# 第3回会合を踏まえた追加質問について⑤

## 利用者の期間拘束・自動更新について

### 質問

- 消費者団体から、ユーザが2年後のことを予測して判断することは困難との意見があった。なぜドコモのように2年経過時点で同一の料金の中で期間拘束の有無を選ぶ機会をユーザに与えないのか。

### 回答

- 過去のタスクフォースでの議論を踏まえ、2016年6月より自動更新なしプランを提供しているところですが、今後もお客様ニーズや市場動向を踏まえ、お客様に当社を選んでいただけるような料金プランを提供してまいります。
- また、お客様には、十分ご理解の上、料金プランを選択いただけるよう、更なる説明強化に努めてまいります。

# 第3回会合を踏まえた追加質問について⑥

## 中古端末の国内流通について

### 質問

- 中古・下取り端末の流通に関し、メーカー側から拘束があるか。

### 回答

- ありません。

## 利用者による利用実態に合わせたサービス選択について

### 質問

- 利用実態と選択プランの乖離について、ピタットプラン、フラットプランへの移行が進んでいるというが、約5,000万ユーザーのうちはまだ300万に過ぎない。その他のユーザーのミスマッチについては、どのようなペースで、どのようにして解消していく予定か。

### 回答

- 「auピタットプラン」「auフラットプラン」は、お客様から好評を頂いており、予想よりも早く契約数が伸びています。昨年7月の提供開始から約半年で500万契約を達成し、auスマホユーザーの約4人に1人がご利用されるまでになっています。満足度もアップしており、利用実態と選択プランの乖離は順調に解消に向かっていると考えます。

# 第3回会合を踏まえた追加質問について⑦

## モバイルサービスの提供条件・端末に関する指針について

### 質問

- 端末購入補助に関するソフトバンクからの提案について、基本的な方向性として賛同されるか。
- また、賛同される場合、ソフトバンク提案の方策以外に、どのような方策が考えられるか。
- SIMロックについて、「解約時の解除件数」、「解約後の解除件数」及び「解約件数に占めるSIMロック解除件数の割合」を示してほしい。

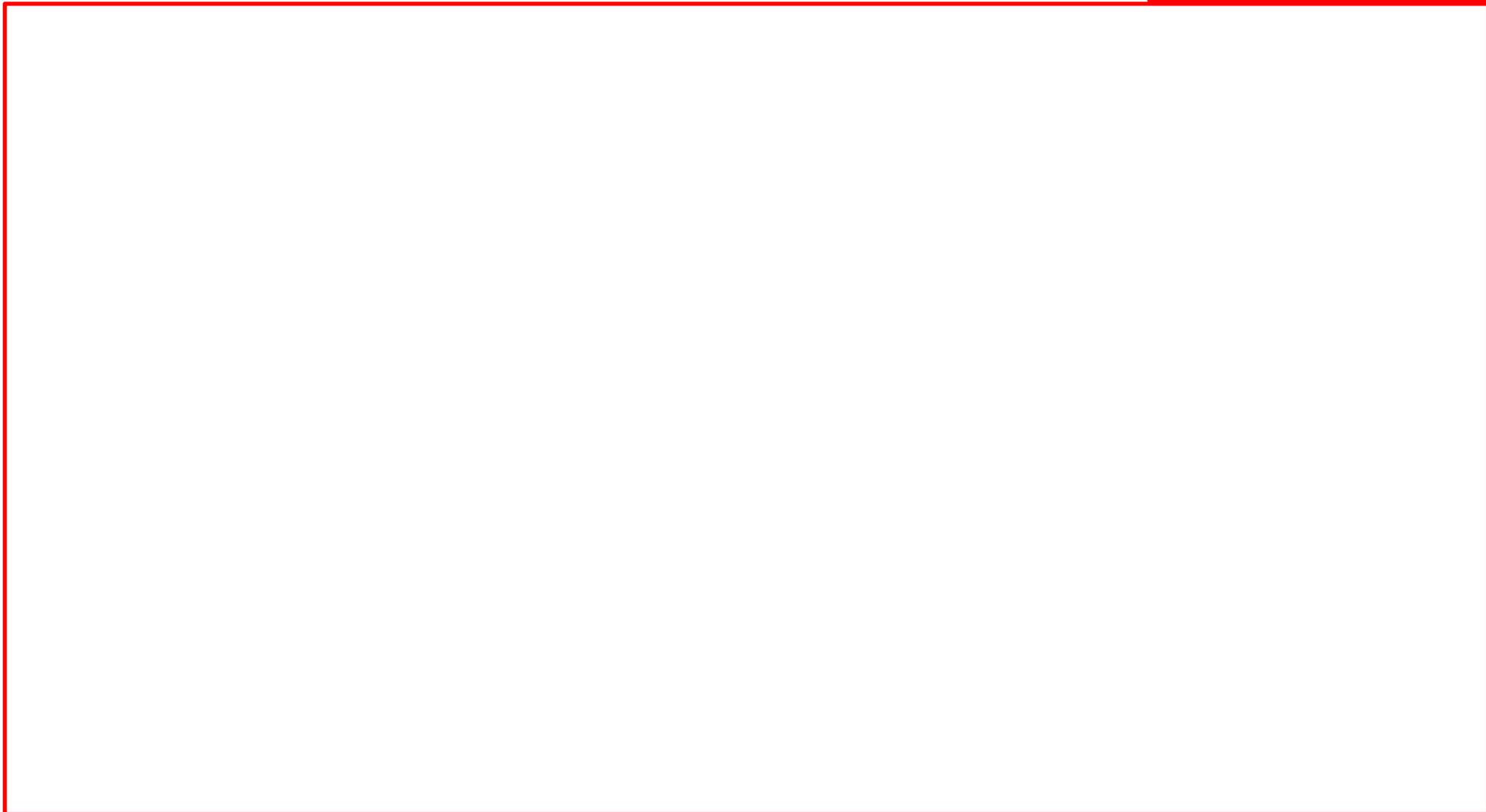
### 回答

- 業界として前向きに検討すべき課題と考えます。
- 別紙のとおりです。

# 第3回会合を踏まえた追加質問について⑧

SIMロック解除件数について

赤枠内は構成員限り



# 第3回会合を踏まえた追加質問について⑨

## その他

### 質問

- 解約時の日割り計算は行っているのか。行っていない場合、それはなぜか。
- 少なくとも、利用量と料金が連動しない基本料（通話定額料）やインターネット接続料を日割りしないのは不合理ではないか。

### 回答

- 日割り計算を可能とした場合、例えば1日で月間データ容量を使い切ってしまうような利用方法を助長してしまうことから、日割り計算を不可としています。
- 現在は、基本料・インターネット接続料・データプランが一体的に提供されることが大半であり、基本料やインターネット接続料のみを日割り計算可能としても、運用が複雑になりお客様にわかりにくくなるため、すべて日割り計算不可としています。